

# 電子情報工学科の教育

## 教育理念

電子情報工学科は、電子工学と情報工学に関する基礎から応用に至る幅広い教育と研究を通して、自然環境にも配慮した科学技術の発展に熱意を持って取り組む、高度な専門能力を備えた創造性豊かな人材の育成を目指す。

## 教育目的

豊かな素養と基礎的な学力を身につけるための「基盤」、「教養」、「体験型」の科目群からなる一般教育科目、ならびに基礎数物系、応用数物系、電子系、情報系、応用系の5系列の専門科目をバランスよく配置した教育体系を展開し、ハードウェアとソフトウェアの両方に精通した技術者を育成する。講義、演習などに加えて、実験、実習、卒業研究などの実践的な少人数教育を通して、基礎学力、基礎技術、専門技術、そして優れた問題解決能力と高い倫理性を備えた自律的な技術者を育成する。

## 電子情報工学科 教育プログラム

電子情報工学科では、以下のA~Gの区分に対して学習・教育目標を設定し、4年間で修得する科目の位置付けを明確にしています。

- A. 地球的視点から多方面に物事を考える能力とその素養
- B. 技術の社会および自然に及ぼす影響・効果に関する理解力や責任など、技術者として社会に対する責任を自覚する能力（技術者倫理）
- C. 数学、自然科学、情報技術に関する知識とそれらを活用できる能力
- D. 該当する分野の専門技術に関する知識とそれらを問題解決に応用できる能力
  - (1) プログラムの目標実現に必要な基礎となる数理法則と物理原理に関する理論的知識（専門に関する基礎学力）
  - (2) プログラムの目標に適合する実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、工学的に考察し、かつ説明する能力（実験の計画遂行能力）
  - (3) プログラムの目標に適合する課題を専門知識、技術を駆使して探求し、組み立て、解決する能力（与えられた専門課題を解決する能力）
  - (4) プログラムの示す領域において、技術者が経験する実際上の問題点と課題を理解する能力（専門的課題の設定能力）
- E. 種々の科学・技術・情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- F. 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力および国際的に適用するコミュニケーション基礎能力
- G. 変化に対応して自主的、継続的に学習できる能力